

## どう思いますか？

### 子どもの人権



**ゆみちゃん** 「日曜日にみんなで野球して遊ぼう」ってことになって、すごく盛りあがったよ。近所のあじさんたちも見に来てくれて、審判をしてくれたりして、みんなとっても楽しそうだったよ。



**ひろくん**

いいな、ほくもやりたかったけど、お母さんが留守だったので家で弟の世話をしたんだ。でも、お母さんに「ありがとう」と言われてうれしかった。

**なっちゃん**

私は習字のあけいこがあったから途中で帰ったの。お父さんは習字よりピアノの方がいいってなかなかやらせてもらえないかったの。でも、最後には私の意見をきいてくれて、今、すごく楽しいよ。

**けんちゃん**

エヘッ、ほくなか土曜も日曜も一日中遊んでたよ。お父さんもお母さんも「子どもは遊ぶのが仕事だ」って言ってるよ。

### 女性の人権



**けんちゃん** 昨日、サッカーに行くときに、隣りのあじさんが洗濯物を干してたよ。  
うちでは、ご飯作りや洗濯は必ずお母さんがしているよ。



**ひろくん**

うちのお父さんはよくほくらの食事を作ってくれるよ。お母さんも外で仕事をしているし、できる方がやればいいって。

**なっちゃん**

そのあばさんはトラックの運転手で、時々遠くまでお泊りで仕事に出かけるって、ママが話してた。きっと仕事だったんだよ。

**ゆみちゃん**

エヘッ、女の人がトラックを運転するの？

### 外国人の人権



**なっちゃん** 「外国人は夜遅く騒いだりゴミ出しのマナーが悪い」ということを聞いたことがあるけど、外国人がアパートやマンションへ入居できないって今もあるのかな。



**けんちゃん**

外国人だからって、「言葉が通じないから・・・」、「何が起こしそう」とか言って、のけ者にするのはおかしいな。

**ひろくん**

話す言葉が違う、習慣が違う、食べるものが違う世界中の人と友だちになつたらいろいろなことを知ることができ、楽しいんだよね。

**ゆみちゃん**

でも、見ただけでは外国人とわからない人もいるよ。

## ちゃんと知るヒント

子どもは、いろいろな面でおとの保護を必要としていますが、おとなも子どもも基本的人権の重さという点では同じです。

しかし、子どもをおとの考えに従わせようすることにより、子どもの人権が損なわれていることはないでしょうか。また、近年、児童虐待の問題が深刻になっています。広島県福山こども家庭センターへの相談は年間203件（2004年度）もあり、年々増加しています。

おとなが優位な立場で感情的に意見を押し付けることなく、子どもの発達段階に応じて子どもの自発的な意見や意欲を尊重し、自分で考え、行動できるように育てることがおとの役割です。子どもの頃のことを思い出しながら、子どもの思いを見つめ、それを尊重して子どもにとって最もよいことは何かを第一に考えて行動ていきましょう。



これまで、「男は仕事、女は家庭」、「男は主、女は従」というように性別により役割や能力を決めつけた「固定的性別役割分担意識」が強くあり、女性の経済的自立や男性の家事、育児等への参画を難しくしてきました。

最近では、男性の中にも家庭や地域のことを分担する人が増えつつあり、女性の職域もずいぶん広がってきました。しかし、「仕事をしてもいいけど、家事に影響のないように」という意識が強くあり「男は仕事、女は仕事も家事も」となりがちです。また、DV=ドメスティック・バイオレンス（女性が夫やパートナーから暴力をうけること）やセクシュアル・ハラスメント（職場などにおける性的な嫌がらせ）などによって女性の人権が脅かされている現状もあります。



女性も男性も、自分の個性や能力を発揮して生き生きと暮らすためには、法律や制度の整備と合わせて、一人ひとりの意識を変えることも必要です。まずは、家事、育児、地域活動など身近なことを一緒に取り組むことからはじめてみませんか。

福山市には5,752人の外国人が暮らしています。<2006年（平成18年）3月1日現在>

中国残留孤児の肉親調査や帰国施策によって帰国した「中国帰国者」の家族など中国籍の人が約37%，戦前、戦後の歴史的な経過の中で日本に定住した人など韓国・朝鮮籍の人が約19%，日系人に関する入国要件の緩和により仕事を求めて来日した人などブラジル籍の人が約16%など、54カ国の人々が暮らしています。

それぞれの国の言語や文化、生活習慣の違い等により、地域社会で理解されにくく、誤解を受ける場合もあります。

こうしたさまざまな国の人々が地域の一員として受け入れられ、安心して暮らせるよう、私たちは、外国人を排除することなく積極的に交流することを通して、さまざまな国の人々の文化や習慣などの違いや在日韓国・朝鮮人に関する歴史的経緯や現状等について理解と認識を深めるなど、互いに尊重し合いながら共に暮らしていくことが大切です。

